

『この世界と その中に在る すべてのものを お造りになった神は、天地の主ですから、手で こしらえた宮などには お住みになりません。

神は、すべての人に、いのちと息と万物とを お与えになった方だからです。

確かに、神は、私たちひとりひとりから 遠く離れては おられません。

私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。(使徒の働き 17:24-28) 』

今年の関東地方は、梅雨らしい どんよりとした雨雲いっぱいの空を目にすることが少ないまま、7月を迎えてしまいました。昨日から熱中症アラートも発令され すっかり夏の到来を思わせます。いきなりの酷暑に、私たち大人は 身体も心も頭も追いついていかず、ため息交じりで空を見上げ思わず げんなりしそうになりますが、明るく愛らしい子ども達の笑顔が毎朝のエネルギー源です。一瞬にしてそれまでのうとうとしさを吹き飛ばし 喜びと元気を与えてくれる子ども達に、心から感謝です。この愛らしい笑顔が絶えることのないよう、暑さと共に感染症対策の徹底にも留意しひとりひとりの体調管理を第一に、この時期こそ遊びや 日々の活動の充実に努めて参ります。

今日から開催されている成田祇園祭ですが、今年も 上町の皆様のご厚意とご協力によりまして 初日の山車を つのぶえ保育園の年長組と年中組13名が 先頭で引かせて頂くことができました。蒸し暑さの中で汗だくになりながらでしたが、卒園生でもある 頼もしい若衆の方達にお世話頂き、上町の 大きくて立派な山車を、皆で力を合わせ、楽しみながら 元気いっぱいに 引いてきました。子ども達は、握った綱の感触、一生懸命に力いっぱい引いた瞬間の感覚、“わっしょい”と一緒に声をあげた時の嬉しかった気持など、それぞれの感想を口々に満面の笑顔で言い合っていました。帰りには、年少組の小野寺にくんのお母さまからご案内頂いた「こどもファースト」の休憩所で冷たいミストとたくさんの扇風機の風と可愛いうちわで涼を取りながら、おしゃべり&ひと休み。ゆっくり過ごすことができ 体力回復！再び元気いっぱいの足取りで園に戻ることができました。お留守番の小さいクラスの仲間と先生達が“かき氷”を用意して迎えてくれたので、皆 大喜びで“美味しい！”“冷たい！”“最高！”と味わいながら またまた満面の笑顔で報告をしていました。その後は、数名ずつ順番に りす組のお風呂場へ行き、温かなシャワーで汗を流して さっぱり！初めてお風呂場の中に入った経験が、子ども達を またまたまた！満面の笑顔にしてくれました。明日、明後日は 皆 おそらく、それぞれの家族や親しい方とお祭りへ出かけることと思いますが、こうして大好きな仲間と一緒に 汗びっしょりになりながら力を合わせて歩いた 初めて尽くしの今日の1日は、きっとキラキラの素敵な思い出として それぞれの心に刻まれていることでしょう。私達も とても楽しかったです。また月曜日、皆から色々なお話を聞けるのを楽しみにしています。

さて 当園の法人 共励福祉会の理事として、大変長い間 運営のためにご尽力くださり、いつも子ども達や私達のために温かく祈り 支えてくださいました 南部 泰孝先生が 先月 6月17日、急逝されましたことを、心からの哀悼と感謝の意を込めまして 謹んでここにお知らせいたします。南部先生は、つのぶえ保育園が この成田の地に建てられた当時に 様々な形で関わってくださり 理事会でおいでになる度に、現在の入口の階段がある斜面を 当時 スコップで掘って歩道にして慣らした作業が「それはそれは大変だったんだよ…」と懐かしそうなお顔でユーモアたっぷりに話され、今までずっと変わらずに見守ってくださった大らかな愛を しみじみ感じていました。私共にとって とても大きな存在を突然に失われ、悲しみと心細さとさみしさでいっぱいですが、保育園に対する先生の祈りと想い、そして 先生が常に語られていたキリスト教保育の貴さと使命、遥かなるビジョンを忘れることなく、これからも精一杯 尽力していきたいと心新たにしています。そして改めて、65年間の歩みの中で つのぶえを愛する方々の、たくさんの想いと祈りによって今の歩みが在ることに心から感謝いたします。天国の南部先生の上に平安を祈りつつ…(石田 記)